みなさんと議会を結ぶ

西和賀町 議会だより

No.31
平成25年7月12日号
発行・岩手県西和賀町議会

■主な内容

・6月定例会（6月12～14日）
ハッチョウトンボを守れ……2P
除雪車を購入します……3P
・そのほか
新しい委員会の面々…12～13P
紙上クイズはじめました…5P

夢をつかめ!! 夢にしわがっ児 Vol.17

湯田中バレーボール部
西和賀の魔女とならん

時は1961年、欧州遠征で22勝した日紡貝塚女子バレーボールチームにつけられたあだ名は「東洋の魔女」。先ごろ行われた県中学校総合体育大会北上地区大会で、貴重な1勝をあげた3年生5人が引退し、1・2年生を主体とした新チームとなりました。いざ、西和賀の魔女とならん。（写真は7月6日、湯田中での練習風景）

→関連18ページ

6月定例会
主な話題

町で用地を購入し湿原保護
ハッチョウトンボを守れ!!

今回提案された一般会計補正予算に、町は貝沢野のハッチョウトンボ生息地の一部の土地を取得するための費用として80万7千円を盛り込みました。このことに関し話題が集中しました。

【審議の様子】

刈田議員　この土地は、町の自然環境保全地域だが、購入までの経緯を教えてほしい。

観光商工課長　昭和63年に貝沢野湿原でハッチョウトンボが発見され、平成3年6月に旧沢内村でこの湿原周辺を自然環境保全地域として指定した。指定地域は12万5248㎡で、このうち既に取得している町有地は5万1500㎡である。

　今回購入する土地は、山林とため池が含まれ、山林は水源涵養（かんよう）として、ため池は地下に浸透し湿原を維持し、ハッチョウトンボの生息環境に重要な役割を担っていると考えられる。

　こうしたことから、町で一体的に管理することが適切であると判断し購入するものである。

刈田議員　現状では木道も壊れているが、この自然環境保全地域を今後どのようにしていくつもりなのか。例えば、観光に結びつけるような考えはあるのか。

観光商工課長　ハッチョウトンボは6月中旬～7月中旬までの1か月間の生息が確認されており、町では、自然環境保全監視員を配置し巡視を行っている。

　町の自然環境保全条例の目的は、良好な自然環境を保全し、豊かな自然との共生を図ることだ。そのため、環境保全を優先して考え、積極的な開発はしない。

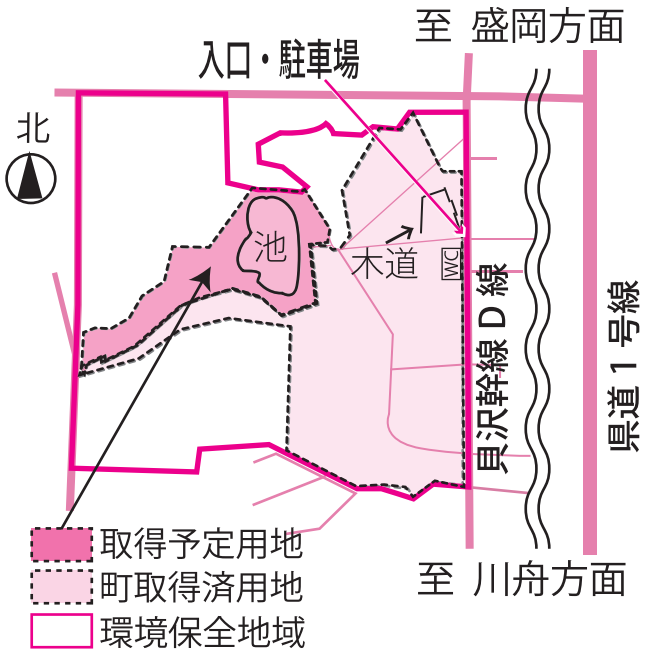
　確かに木道は、雪などにより下がってはいるが、しっかりしており観察に支障はない。今の状況のまま保全していきたい。

刈田議員　ハッチョウトンボは、希少価値を持ち、町にとっても宝であるので、ネイチャーセンターの類を設置し、ガイドの養成や町外の小中学生を呼び自然観察に活用してもらうなど、土地購入だけでなく付加価値を高めることも必要ではないか。

観光商工課長　ハッチョウトンボは日本一小さなトンボといわれている。

　しかし、青森県から鹿児島県まで広く分布しており、絶滅危惧種に指定している地域もあるが、岩手県の場合はBランクである。県内の場合は、それほど希少とはいえないが、町内ではここ1か所だけに生息が確認されているほか、自然環境調査のための※指標昆虫のひとつである。

　自然環境が豊かでなければ生息できないトンボで、関連施設の設置は今のところ考えていない。



指標昆虫（しひょうこんちゅう）とは

　環境省が5年ごとに行う自然環境保全基礎調査のために選ばれた10種類の昆虫のことをいいます。

　ハッチョウトンボのほかゲンジボタルやムカシトンボなどが指定されています。

6月定例会 主な話題

除雪車なくして除雪作業語れず

安かろう、悪かろうではダメ

だからこそ信頼できる機械購入を

町では除雪車の老朽化に伴い16㌧級除雪ドーザーを１台購入することとして、今定例会に提案しました。契約の相手方は、㈱ＫＣＭＪ盛岡営業所で、契約額は税込みで2394万円です。納車は平成26年2月28日までですが、これら除雪車の導入に関し話題が集中しました。

除雪車を40台あまり保有する西和賀町にあって、除雪車の更新は欠かせません。

【審議の様子】

早川議員　納車が2月下旬にとなっているが、これでは今季の作業に間に合わないのではないか。

建設課長　全国的に発注が重なり、この時期になると製造者から回答があった。シーズン当初には間に合わないが、納車され次第排雪作業などに十分に活用したい。

刈田議員　落札率はどの程度か。

建設課長　４社を指名した。予定価格は２６０１万９千円で、落札価格が２３９４万円なので、落札率は９１．９９％になる。

髙橋（昭）議員　入札では４社のうち2社が辞退したと説明があったが、予定価格があまりに低かったなど、何か理由はあるのか。

総務課長　予定価格などはさまざまな状況を考えて算定しており、事務上での問題はない。しかし、除雪機械の発注が年度初めに集中したこと、最新の排ガス規制に間に合うかどうかという製造者の判断もあったようだ。

髙橋（昭）議員　今後入札する際は、最初から納入が無理であれば、入札から遠慮してもらえないのか。

総務課長　現在の定めでは入札するまでは辞退できることになっている。

辞退する場合は、事前に期限を示すなど指名する際の条件を検討していく必要がある。

中村議員　毎年数台の除雪車を購入しているが、アフターサービスなどを考慮して入札しているか。

建設課長　いずれの事業者も県内にサービス拠点があるし、使っていての不具合は製造者に伝えて反映させるようにしている。情報交換しながらやっている状況だ。

中村議員　除雪機械には、いわゆる「あたり」、「はずれ」があると考えて良いか。

建設課長　機種により、故障しやすい、しにくいは明確ではない。

児玉議員　購入するにあたっては、メーカーの違いにより故障の発生率など頻度は、どうなっているか。

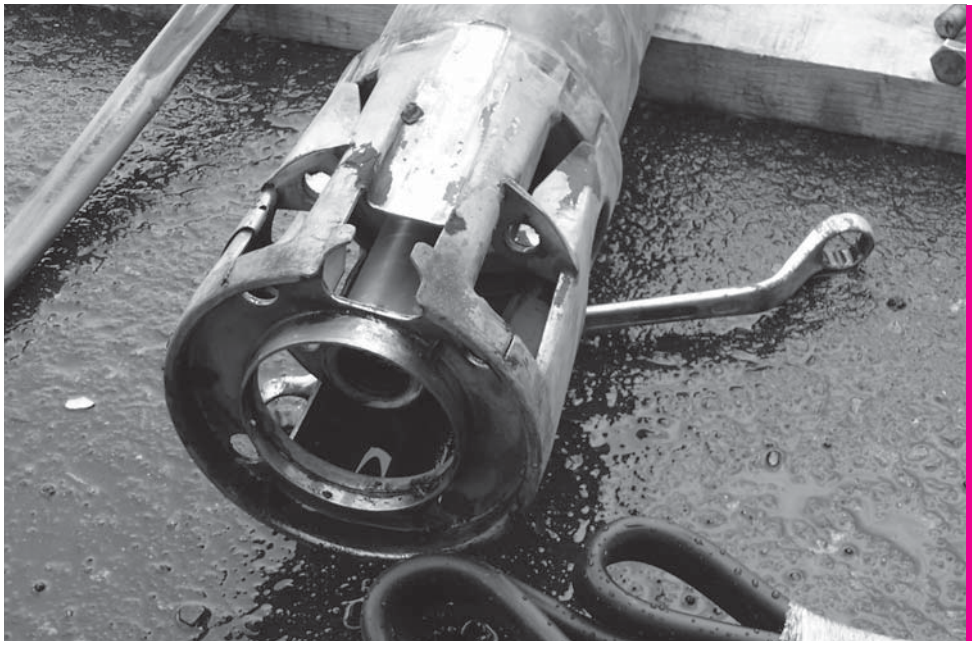
建設課長　いずれの機種も国の基準をクリアしている。故障の頻度ははっきりとしたデータがないが、機械の差は無いと認識している。

児玉議員　除雪車の配車で新車が納車されない基地もあるが、作業員から不満の声はないか。

建設課長　機械の配車は今後の課題にさせてほしい。

町長行政報告

ほっとゆだのポンプ不調



壊れた水中ポンプを引き上げたところ。このようなポンプが揚湯管の中に入っていて、源泉をくみ上げています。

5月23日午前、貯湯槽（ちょとうそう）が低水位になっていることが判明しました。担当職員がポンプの再始動を試みたものの、復帰しなかったため、専門業者に点検を依頼しました。

その結果、水中ポンプのモーター部分が経年劣化などで腐食が進み破損しているのではないか、とのことでした。

錦秋湖マラソンの直前であり早急に対応する必要があり、直ちに修理を依頼し、24日の朝から水中ポンプを引き上げて同日午後3時に復旧しました。

予想どおり、モーター部分が破損しており、モーターを交換しました。

ほっとゆだは、25日から営業を再開し、その後は順調でしたが、6月3日に貯湯槽が低水位で、温泉が濁っているとの連絡がありました。確認の結果、湯量が毎分100リットルのところが50リットルと半分でした。

再度、業者に点検してもらったところ、揚湯管（ようとうかん）の途中から源泉が漏れている可能性を指摘されました。現在の揚湯管は、強化プラスチック製で平成10年9月に交換しましたが、全体的な老朽化から交換が必要です。モーターの交換とあわせて補正予算で対応します。

ほっとゆだは、湯量が少ないながらも通常通り営業を行っています。

←引き上げた揚湯管。強化プラスチック製のためさびませんが、全体的に老朽化しています。

→上が壊れた水中ポンプで、下が新品の水中ポンプ

第17回6月定例会会期日程

（平成25年6月12日～14日）

月　日	内　　容	関連ページ
平成25年6月12日(水)	諸報告	4
	一般質問　3人 ・湯澤正議員 ・淀川豊議員 ・刈田敏議員	8～11
13日(木)	議案審議 報告4件、条例1件 そのほか1件 補正予算4件	6～7
14日(金)	議案審議 その他2件、同意1件 請願・陳情　継続1件 新規2件 議員発議2件	

※①議会の回数は、定例会、臨時会も含めた回数で、議員の任期（4年間）での累計開催数を表します。
②12日と13日に常任委員会を行いました。

※行政報告とは町長や教育委員長が町の大きな話題を議会に報告することです。
報告なので、議員は行政報告に対し質問することはできません。

議会だよりを今まで以上にみなさんに読んでほしいので、今回号から紙上クイズを行うことにしました。答えは必ず紙面の中にあります。『スミからスミまで』呼んでご応募ください!!

紙上クイズ スミからスミまで

空欄に適切なことばをいれてご応募ください。
当選者（３人）には豪華景品を差し上げます!!

問題文

1．５月15日臨時会で○○編集常任委員会を設置

2．ハッチョウトンボの岩手県での絶滅危惧種ランクは○です。

3．３月～６月の期間中に議長がお祝いに使った交際費は４件で○万６千円です。

【応募方法】
はがきやFAXで、答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢をご記入ください。また、議会に対するご要望、ご意見などがありましたら、あわせてご記入ください。
なお、匿名での受付はしません。

【応 募 先】
〒029-5692
西和賀町議会事務局「議会だより紙上クイズ」係まで、FAXの場合は0197-81-2008まで

【締め切り】
7月31日消印有効とします。

【発　　表】
次回号で当選者（特に断りが無い限り、氏名と地域）を発表します。

私たちのくだした判断　第17回6月定例会・議員ごとの賛否状況

※議案順に並べています。審議した順番ではありません。

番号		議案名（一部省略しています）	柳沢安雄	湯澤正	柿澤繁俊	中村キミイ	淀川豊	深澤重勝	髙橋雅一	児玉正彦	刈田敏	早川久衛	髙橋昭貴	佐々木正裕
報告	1号	24度一般会計予算繰越明許費繰越計算書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	2号	24年度簡易水道会計繰越明許費繰越計算書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	3号	24年度下水道会計繰越明許費繰越計算書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	4号	24年度沢内病院会計継続費繰越計算書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案	1号	高齢者、障害者等の移動等の円滑化に必要な町道の構造の基準に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	2号	損害賠償の額を定めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	3号	25年度一般会計補正予算	○	○	早	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	4号	25年度簡易水道会計補正予算	○	○	早	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	5号	25年度温泉会計補正予算	○	○	早	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	6号	25年度沢内病院会計補正予算	○	○	早	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	7号	除雪ドーザの取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	8号	町道貝沢幹線Ｃ線防雪柵設置工事契約締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
同意	1号	西和賀町人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
請願・陳情	13回定例会2号	協同組合法（仮称）の制定を	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	1号	河川改修工事の事業化を	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	2号	３０人以下学級実現などを求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
発議	1号	協働組合法（仮称）の制定を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	2号	３０人以下学級実現などを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－

表の見方　「○」は賛成、「●」は反対。採決の際の棄権は「棄」、欠席は「欠」、遅刻は「遅」、早退は「早」を表し、「－」は採決に加わらなかったことを表します。また、佐々木議長は賛否が同数などの場合にのみ採決に参加します。これ以外は採決に参加しません。

このように決まりました

審議の中身

高圧電線を損傷し112万円を弁償
人権擁護委員に藤原忠正さんを再任
ほか

25年度予算の補正

下記表1のとおり平成25年度予算を補正し、すべて原案のとおり全員賛成で可決しました。

報告案件

一般会計と3つの特別会計で24年度の年度内に完了することができなかった事業を25年度に繰り越すとの報告がありました。額や内容は表2をご覧ください。

繰越明許費（くりこしめいきょひ）とは

町の予算は、「会計年度独立の原則」により、その年度の支出は、その年度の収入をあてることになっています。

特別な事情で年度内に、事業が完成できない場合は、翌年度に繰り越すことが認められています。

新規条例

●高齢者などにやさしい道路の基準

全員賛成 ▼可決

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律が施行されています。この法律は、地方自治体の自主性を強化し、自由度の拡大を図るものです。

この法律の趣旨にそい高齢者や障がい者が移動しやすいように町道の基準を定めた「西和賀町における高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な町道の構造の基準に関する条例」を制定しました。

条例では、道路には歩道を設け、その有効幅員、舗装、勾配などを規定しています。

人事の同意

●人権擁護委員の同意

全員賛成 ▼可決

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱され、国民の基本的人権の侵犯を監視し、侵犯された場合は救済のために適切な対応をとります。委員は、法律により議会の同意が必要で、藤原忠正（ただまさ）さんを再任することに同意しました。

藤原忠正さん
（再任・川尻・62歳）

【表1】 本定例会での平成25年度予算補正

項　目	現在の予算額	今回補正した額	補正後の予算額	繰り越した主な事業
一般会計	71億4400万円	3億3065万円	74億7465万円	沢内病院会計への繰り出し3億5635万円ほか
簡易水道	10億5766万円	2万円	10億5768万円	水道料金過年度還付金2万円
温泉会計	8506万円	483万円	8989万円	ほっとゆだ修繕料483万円
沢内病院会計（資本収支）	15億6352万円	3億6005万円	19億2357万円	ベッドサイドモニターほか428万円、病院建築工事3億5577万円

※ 表中の金額は、万円未満を切り捨てていますので合計が一致しない場合があります。
※ 沢内病院会計は、民間などで採用している複式簿記会計を採用していますが便宜上他会計と同様に表示しています。

【表2】 平成24年度から25年度に繰り越した額

項　目	繰り越した事業数	繰越額	繰り越した主な事業
一般会計	16事業	4億3690万円	町道東側幹線道路改良事業、町道長瀬野線八年橋改修事業ほか
簡易水道	1事業	2378万円	簡易水道過年発生災害復旧事業
下水道	1事業	532万円	浄化槽市町村整備事業
沢内病院	1事業	1695万円	新病院整備事業

※ 沢内病院会計は、民間などで採用している複式簿記会計を採用していますが便宜上他会計と同様に表示しています。

そのほか

●除雪車を更新

全員賛成 ▼ 同意

除雪車の老朽化に伴い16トン級除雪ドーザーを1台購入します。契約の相手方は、㈱ＫＣＭＪ盛岡営業所で、契約額は税込みで２３９４万円です。納車は平成26年2月28日までです。→関連3ページ

●除雪作業で高圧電線を損傷

全員賛成 ▼ 同意

3月13日、上野々地区で排雪作業をするためブルドーザーをトレーラーで運搬しました。銀河ホール駐車場へ降ろすため川村美術館前をバックで走行中、ブルドーザーが道路沿いの電柱に併設された地下埋設用の高圧電線管に接触し、高圧電線を損傷させました。

復旧には、損傷箇所から川尻郵便局前マンホールまでの高圧電線の張り替えが必要で、これにかかる費用は１１２万５９８８円でした。

刈田議員　過失に対し、関係職員をどのように処分したか。

副町長　大型重機や特殊車両の運転は、除雪スタート時点で警察も交えながら安全教育を行っていた。非常に遺憾であり、関係職員には町長から厳重注意した。なお、損害額は原因者に負担させないこととした。

電柱に併設された高圧電線管がくの字に曲がり、高圧電線が損傷しています。

●防雪柵の設置工事を契約

全員賛成 ▼ 同意

町道貝沢幹線Ｃ線の防雪柵（吹払柵）設置工事を契約しました。

契約の相手方は㈱田中建設（西和賀町）で、契約金額は税込みで５５１２万５千円です。工期は11月24日までです。

みなさんの願い

●請願

・河川改修の事業化を

全員賛成 ▼ 採択

【提出者】広瀬勉さん（貝沢区長）ほか５人

【紹介議員】児玉正彦、高橋雅一

【内容】貝沢地区内にある川が大雨で氾濫すると、地域住民の生活を脅かし、農作物に甚大な被害が発生しています。

①貝沢地区は高下岳の麓に位置し、大雨になれば山や川から流れる水が合流し鉄砲水となり、田畑に土砂などが流れ込むだけでなく、住宅の床下浸水が発生すること、②川の氾濫により下流一帯の農作物が甚大な被害を受けること、③自然環境のきびしい中、次世代に農業を継承するため英知を絞り工夫改善をしていることなどの理由から、大木原川と大八郎川合流地点の河川改修工事の事業化を要望する請願です。

広瀬勉貝沢区長（写真右）をはじめとするみなさんが議会事務局に要望書を提出する様子。

●陳情

・協同組合法（仮称）の制定を（３月定例会に提出され継続審査とした案件です）

全員賛成 ▼ 採択

【提出者】横山寿和さん（日本労働者協同組合連合会センター事業団　盛岡中央事業所長）

【内容】協同組合とは、組合に参加する人すべてが協同で出資、協同で経営し、協同で働く形態です。しかし、法的な根拠がなく、希望と誇りを持って働くためにも法制度を求める陳情です。

・30人以下学級などを求める

全員賛成 ▼ 採択

【提出者】及川巧さん（岩手県教職員組合和賀支部長）

【内容】未来への先行投資として、子どもや若者の学びを切れ目なく支援し、雇用・就業の拡大につなげるため、①30人以下学級の少人数学級を推進すること、②義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に復元すること、③教育予算の充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充してほしいとの陳情です。

議員発議

請願・陳情で採択された町内案件を除く2件は、内閣総理大臣や関係省庁に、西和賀町議会からの意見として意見書を提出しました。

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会などから提出のあった建築物の耐震改修を促進する要望書は、議員全員に参考配付（コピー）しました。

○請願には議員の紹介（署名）が必要です。議員の紹介のないものは陳情として取り扱います。
本会議で採択された請願・陳情は、意見書として関係機関に提出しました。

ここが聞きたい 一般質問

6月定例会には3人が一般質問しました

◆一般質問とは

一般質問は、町が行うすべての事務や事業に関して何でも質問できる大事な議員活動の場です。しかし、年4回の定例会の場でしかできず、臨時会ではできません。

◆質問時間は30分

西和賀町議会では、議員が質問できる時間は30分以内と決めています。町の答弁に制限時間はありません。

◆一問一答方式

質問は基本的に、議員と町長が対面し、一つ質問をして一つの回答を得る一問一答方式です。この方法は傍聴者にもわかりやすく、議員もより問題を深められる方法といわれています。

◆事前通告

西和賀町議会では、議会運営をスムーズに行うため、質問する議員には前もって質問内容を記した事前通告書の提出を義務づけています。

◆登壇順（質問順）

一般質問では議員同士が同じ質問をする場合が多々あります。はじめに質問するか、後に質問するかは議員にとって大きな関心事です。西和賀町議会では、公平をきすために通告書の届出順にくじ引きをして決定しています。

◆情報公開

事前通告書や会議録は、その都度町ホームページに公開しています。

湯澤　正 議員

一般質問を終えて

話を広げ過ぎてしまい
これまでの域を出ない
総論的な質問になって
しまったと反省・・・

淀川　豊 議員

一般質問を終えて

町当局に
あらためて問いかけたい。
理想や原則が大切か。
地域が良くなる
ことが大切か。

刈田　敏 議員

一般質問を終えて

町当局は
私の質問の趣旨を
理解していない！
・・・残念。

販売額が増加傾向の西わらび。５月27日湯夢プラザ前で「西わらびお披露目会＆ゆうパック出発式」が行われました。初出荷では、花巻市や奥州市など県内を中心に600㌘と800㌘煮ワラビ50ケースを発送しました。

質問

細井町政一期目の公約に対する評価はどうか

湯澤　正　議員

町長

新病院建設など掲げた目標に全て手をかけられた

質問　農業や観光振興はどう図られたか。

町長　21年と24年を比べた販売額では、米やリンドウなど微増部門はあるものの主要農産物全体では13億7千万円と約7％減となった。ただ国農政の変化や高齢化、異常気象など厳しい環境の中で遊休農地を50町歩以上解消できたこと、六次産業提唱の中でまだ量的に少ないとはいえ西わらびの販売額倍増など見るべき前進もあったと思う。

観光客入り込み数もこの3年間に東日本大震災の影響が残る中、全国規模のキャンペーンなどのお陰もあって52万7千人へと2％だが微増となっている。

質問　今、産業振興が求められている町の状況からすれば、目標面積や販売額とその到達目標年次を示して鼓舞していくべきではないか。

町長　六次産業推進センターを立ち上げ、作れば全て売れるという生産意欲拡大に火がついた。その意識を農家が持つところまできた。到達目標年次などのタイムスケジュールはこれから示したい。

質問　町民の健康を守る課題はどうか。

町長　沢内病院の老朽化は患者にとっても医療スタッフにとっても容易ならざる事態と判断し、新病院建築に着手した。

質問　西和賀町の公的医療機関が果たすべき役割とは何か。

町長　地域医療推進の大前提であり、基本的な環境設備でもある。公的自治体病院が果たす役割は、大きな専門的な病院と連携をしながら身近なところで治療し、回復させていく医療の提供と考えている。

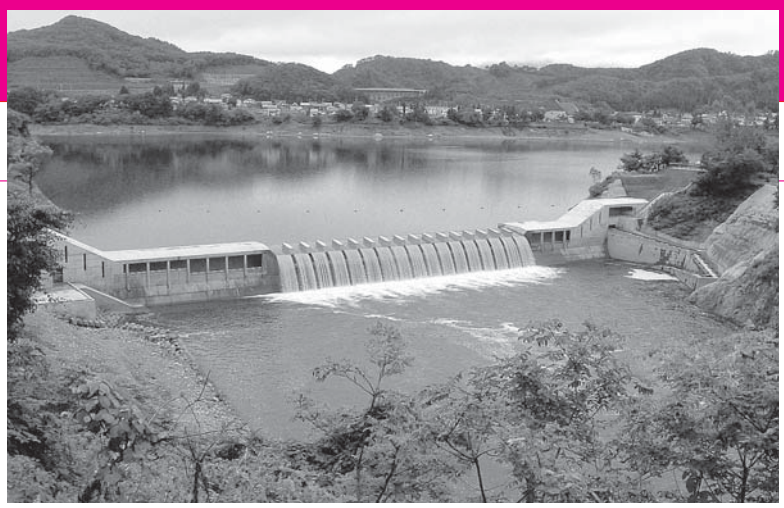
質問　これからの町政推進に向けた基本的な考え方は何か。

町長　一言でいえば地域財産を活用したまちづくりだ。今の社会状況は日本の農山村が生き残れる可能性を感じさせる状況にある。その可能性のチャンスを提供することが町の将来に繋がる。山林・山菜・山野草あるいは温泉など西和賀町全体、そして何よりもここに暮らす町民の全てを地域財産と思っている。

【そのほかの質問】

・まちづくり委員会の活動状況は

・西和賀高校存続運動の現状は



湯田ダム本体への砂などの堆積を防ぎ、ダムの長寿命化を図ることを目的に平成14年に設置された貯砂ダム。夏季はダム堤体内が開放され、水のカーテンの中を歩くことができます。

質問

指名停止処分で町に問題はなかったか

副町長 法令順守を徹底していきたい

質問 昨年度の町工事で工期が遅れた5事業で町内4業者を1か月間の指名停止処分としたが、発注者として工事管理や指導に問題はなかったのか。

副町長 発注者、受注者の両者が情報を共有しながら最もよい方法を模索し、2～3月に完成する工事には対応してきた。発注者、受注者双方は率直に反省をして、法令順守の確保を徹底したい。

質問 まちづくり基本条例の施行から1年が経過をしているが、現状の効果や問題点をどのように分析しているか。

政策推進室長 この条例は最高規範としてあらゆる場面で意識されていることが最大の効果である。

一方、条例に定めたまちづくりの3大原則は①情報共有、②参画、③協働で、これをいかに実効性のあるものにするかが大きな課題だ。まず参画と協働の指針を策定し、具体的な行動計画を策定したいと考えている。

質問 ILCが北上山系に誘致された場合に、西和賀町にはどんなメリットが考えられるか。

町長 研究者やその家族の長期滞在、保養やレジャーの場の活用に大きな期待が持てる。

質問 地域の観光施策は、各団体などの役割が重要だと感じているが、とりわけ各観光協会の役割をどのように考えているか。

町長 観光客との実際の接点となるので、顧客のニーズに対応したり、課題のチェックなどが非常に重要な役割となる。

質問 貯砂ダム周辺の環境整備をどのように考えているか。

町長 今年は湯田ダム完成50年という節目であり、対策を今後検討したい。

質問 小学校の統廃合から2年が経過しているが、空き校舎の利用促進に関し具体的な検討状況とその進み具合は。

副町長 具体的な考え方は現時点では特に変えていない。まず行政需要の活用を大前提にし、解体が決まっている校舎は本年度に解体する。

質問 旧川尻小学校の空き校舎利用の今後の具体的な予定はどのようになっているか。

副町長 消防法上、校舎全体の施設整備が必要であり、部分的な使用は難しい状況にある。

質問 同様に、校庭の活用はどうか。

教育長 玄関口のスロープ整備や周辺整備の検討をしなければならない。

淀川 豊 議員

質問

婚活に対する町の対策は

刈田　敏　議員

西和賀商工会青年部（髙橋宏明部長・大沓）が今年の雪あかりと同時開催した『にしわがsnow friends 2013』。出会いを求め町内外から24人が参加し４組のカップルが誕生しました。

町長　商工会青年部に任せ発展的に支援する

質問　少子化が進んでいる状況にあるが、その対策は。

町長　子どもの出生に対するお手伝いとして、保健師の訪問、育児相談、保育料軽減、病時保育事業の開始、学童クラブの整備、小学生までを対象にしたインフルエンザの予防接種費用の助成など子育てしやすい環境整備をして対応してきた。

質問　西和賀町に住み、子どもを産み、育てていくということからすれば、これらの対応ではインパクトが弱いのではないか。

町長　重要なのは、親がここに存在するという事で、その誇りと実質的に雇用を確保できるかという事も大きな要素になる。産業振興の面から雇用の確保だけでなく、学校教育に限らず社会教育も含めた中で子育て支援をもっと幅広く検討するべきだと考えている。

質問　不妊治療の状況と考え方を伺う。

保健福祉課長　町民や医療機関から不妊治療に関しての相談は受けたことがない。県の助成制度もあるが自己負担は高額になると考えている。

昨年、保健福祉課で今後どうするか検討したところだ。

町長　課内で協議や検討を開始しているので、前向きな実施に向けて進めていきたい。

質問　自ら積極的な結婚活動（婚活）を行うことに対し、町の対策はあるか。

町長　現在は西和賀商工会青年部のみなさんの活動に任せたほうがうまくいくと思っている。その活動に発展的に支援し、良い結果を生み出すように協議したい。

質問　婚活を自分を磨くために必要だと捉え、この町で生きていく自信をその活動の中でアピールしていく場と捉える必要があると思うが、どうか。

町長　そのことを引き出すため、新たな組織を作るのではなく、商工会青年部の力を活用したいと考える。商工会青年部とも協議し、より自信を持って進められるような応援を工夫したい。

【そのほかの質問】

- 長期的な観光事業の考え方
- ローカルエネルギーと観光の結びつき
- 景観を阻害する廃屋対策は

広報編集委員会を新たに常任委員会に格上げ

５月15日の臨時会にて、任期満了に伴う各種委員会の人選に関し、条例や慣例にしたがい、表のとおり人選しました。また、委員長などは委員の互選により選出されました。

また、より議員が積極的に議会だより作成に携わるように、従来の議会だより編集委員会を新たに広報編集常任委員会として常任委員会化しました。

名称＼氏名	そのほか	議会選出監査委員	一部事務組合			
			後期高齢者医療広域連合	岩手中部広域行政組合	北上地区消防組合	北上地区広域行政組合
柳沢安雄	民生児童委員推薦委員	—	—	○	—	—
湯澤正	—	—	—	—	—	—
柿澤繁俊	—	—	—	—	—	—
中村キミイ	—	—	—	—	—	—
淀川豊	—	—	—	—	—	—
深澤重勝	—	—	—	○	○	—
髙橋雅一	—	—	—	—	—	—
児玉正彦	—	—	○	—	—	○
刈田敏	—	—	—	—	○	—
早川久衛	—	○	—	—	—	—
髙橋昭貴	—	—	—	—	—	○
佐々木正裕	—	—	—	—	—	—

◆常任委員会

議会の権限強化と行政の複雑化、専門化に対応するため設置します。西和賀町議会には、総務教民、産業建設、広報編集の３つの常任委員会を設置しています。委員会の任期は、地方自治法で「議員の任期中」とありますが、本町議会では、条例で２年と定めています。

総務教民常任委員会（定数６・任期２年）
総務や教育民生に関する事務の調査と議案、請願・陳情などの審査を行います。

産業建設常任委員会（定数６・任期２年）
産業や建設に関する事務の調査と議案、請願・陳情などの審査を行います。

広報編集常任委員会（定数５・任期２年）
議会広報の編集や発行などを行います。

◆議会運営委員会（定数５・任期２年）

会期を何日間にするか、議案の取り扱いをどうするかなど、議会運営を円滑に行うために議長の求めに応じ、さまざまな問題を協議します。

◆一部事務組合

行政の能率化と効率化を図るために、特定の事務を構成市町村で共同処理する方式です。構成市町村の首長や議員などで構成され、その構成員で議会を組織します。

後期高齢者医療広域連合（各市町村定数１）
後期高齢者医療制度の運営は、保険料の徴収や窓口業務を市町村が行い、財政運営や資格管理などは都道府県単位の広域連合で行います。加盟市町村の首長か議員から１人を選出します。

北上地区広域行政組合（定数２・任期４年）
西和賀町、北上市、花巻市で構成する事務組

西和賀町議会の委員会構成（H25・5・15～）

新しい委員会の面々

名称／氏名	常任委員会			議会運営委員会	町政調査会	議員互助会	図書室運営委員会
	総務教民	産業建設	広報編集				
柳沢安雄	委員長	―	―	○	幹事	世話人	―
湯澤正	―	○	―	―	○	○	―
柿澤繁俊	○	―	―	委員長	幹事	○	○
中村キミイ	―	○	委員長	―	○	世話人	―
淀川豊	―	○	副委員長	―	幹事	○	―
深澤重勝	―	委員長	―	○	○	世話人	―
髙橋雅一	―	副委員長	―	副委員長	会長	○	―
児玉正彦	○	―	―	―	○	○	○
刈田敏	○	―	○	―	副会長	○	○
早川久衛	副委員長	―	―	―	監事	監事	―
髙橋昭貴	―	○	○	○	幹事	副会長	―
佐々木正裕	※	―	○	―	○	会長	―

※慣例に従い佐々木議長は委員会を辞退しました。○印は所属を表します。

合で、主にし尿処理を共同で行いますが、北上市と花巻市は火葬業務も共同で行っています。

北上地区消防組合（定数2・任期4年）

西和賀町と北上市を構成市町とする事務組合で、消火活動や救命活動にあたります。

岩手中部広域行政組合（定数2・任期4年）

西和賀町、花巻市、北上市、遠野市の3市1町で構成し、一般廃棄物の処理施設の設置を目的としています。

◆町政調査会（議員全員で構成・任期2年）

町政全般の調査、研究などを行い、町政の運営に寄与することを目的に議員全員で構成する組織です。役員の任期は2年で、選任された幹事の互選により会長、副会長を選出します。

◆議員互助会（議員全員で構成・任期2年）

議員の親ぼく、福利厚生をはかるために設置しています。会長には議長、副会長には副議長、3人の世話人にはそれぞれの常任委員長、監事には議会選出監査委員をあてています。

◆図書室運営委員会（定数3・任期4年）

地方自治法で、議員の調査研究に必要な図書を保管する図書室の設置が義務づけられています。運営委員は、議長が委嘱します。

◆議会選出監査委員（定数1、任期4年）

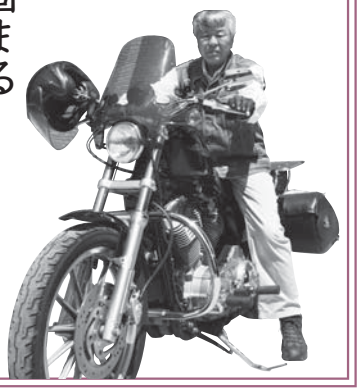
行政が最小限の費用で最大の効果をあげているか、事業の妥当性や能率性を監査し、町村の場合は2人の監査員を置くことになっています。一人は、識見を有する町民から、もう一人は議員から選出します。

ひゃくじゅついっせいにしかず　第九回

百術不如一誠

議長　佐々木　正裕

新病院建設　雨降って地固まる



6月21日新町立病院建設の安全祈願祭が大野地区の現地で行われました。私もご挨拶をする時間を与えられましたので、一言申し上げました。

当時は少し雨模様だったため、本日は良き日和であると話しました。なぜか。やっとの思いで新病院建設にこぎつけることができ、『雨降って地固まる』のことわざのとおりではありませんか。

2年前の3月11日東日本大震災で、社会・経済情勢が一変し、物資の不足による資材の値上げや人件費が高騰し、先ごろの新病院建設の入札では不落札という事態になりました。一時は新病院建設も頓挫し暗礁に乗り上げたと思われましたが、(株)銭高組が、工事を請け負ってくれることとなりました。

これを受け、西和賀商工会では、銭高組に出向き、町内建設業者が工事に参画できるようにお願いをしましたが、私も同様の考えです。是非町内建設業者を参画させてほしいと挨拶でも申し上げました。

今回の工事では、設計書や仕様書に固執せず、質や価値を落とさずに作業工程を簡略化しコストを抑えるVE方式（Value Engineering）を導入しています。17億4千万円の事業費は、西和賀町では破格の大型事業です。

新病院は、町が標榜する生命尊重の町にふさわしい医療福祉を中心とした基幹となるべき役割を担うことを期待し、ゆくゆくは新病院の大きな意義を町民のみなさんと共に共有しながら、町の今後ますますの発展を誓いあいたいと思います。

※「百術不如一誠」は、議長の所感などを毎号掲載しています。

議会行動

平成25年3月定例会以降の議会公式行動

3月
22日 地域活性化情報交換会「町内」　議長
23日 新町保育所卒園式「町内」　議長ほか
教職員辞令交付式「町内」
教育委員会並びに町体育協会表彰式「町内」　議長
26日 西和賀町病診連携推進会議「町内」　議長
転出教職員送別会「町内」　副議長
28日 第14回議会臨時会「議場」　議員全員、事務局
29日 奥州市議会議長等来庁対応「町内」　議長、局長
職員辞令交付式「町内」　議長
4月
1日 職員辞令交付式「町内」　議長
教職員着任式「町内」
4日 岩手県議会事務局来庁対応「町内」　副議長ほか、局長
5日 湯田中入学式「町内」　副議長ほか
沢内中入学式「町内」
6日 西和賀高校入学式「町内」　副議長ほか
湯田小入学式「町内」
7日 交通安全協会沢内支会総会「町内」　議長ほか
8日 沢内小入学式「町内」
リンドウ栽培農家との懇談会「町内」　議員11人、事務局
10日 消防関係者歓送迎会「町内」　議長
転入教職員等歓迎会「町内」
11日 農業振興センター総会「町内」　副議長
18日 ILC議員連盟に関する協議「盛岡市」　議長
23日 本音で語ろう県議会「町内」　議員10人、事務局
24日 交通安全功労者等の表彰式「北上市」　議長
26日 県南地区町議会議長会事務局長会議「盛岡市」　局長
27日 交通安全協会湯田支会総会「町内」　局長
30日 北上・和賀地区戦没者追悼式「北上市」　議員8人、局長
5月
2日 沢内遺族会総会「町内」　議長
国際リニアコライダー講演会「一関市」　議員7人、局長
8日 県南地区町議会議長会総会「町内」　議長、副議長、局長
10日 安ケ沢かたくりまつり「町内」　議長ほか
12日 西和賀町消防演習「町内」
第4分団防災訓練慰労会「町内」
13日 湯田温泉峡旅館組合総会「町内」　議長、産建委員長
15日 第15回議会臨時会「議場」　議員全員、事務局
16日 ILC講演会「平泉町」　議長、局長
17日 西和賀高校教育振興会総会「町内」　議長、総教委員長
18日 沢内中運動会「町内」　議長ほか
19日 湯田中運動会「町内」　議長ほか
20日 和賀川の清流を守る会総会「北上市」　議長
21日 岩手県町村議会議長会研修会「盛岡市」　議員2人、局長
23日 西和賀商工会総会「町内」　議長
[国際リニアコライダーの東北への誘致]
中央実行運動「東京都」　議長
24日 (株)エステック総会「町内」　産建委員長
西和賀高校存続対策委員会総会「町内」　議長
25日 湯田小大運動会「町内」　議長ほか
26日 錦秋湖マラソン「町内」　議長ほか
27日 西わらび出発式「町内」　議長
28日 町村議会議長・副議長研修会「東京」　議長、副議長、局長
29日 西和賀町納税貯蓄組合連合会総会「町内」　総教委員長
30日 西和賀町観光協会総会「町内」　議長
31日 第16回議会臨時会「議場」　議員全員、事務局
6月
1日 沢内小大運動会「町内」　議長ほか
3日 岩手・秋田県際交流事業総会「町内」　議長
北上横手地域開発促進協議会総会・平和街道サミット「町内」
8日 湯田ふるさと会総会「東京」　議長
10日 北方領土返還要求運動岩手県民会議総会「盛岡市」　議長

議会内部の会議は省略しています。また、行事名も一部省略しています。

このように使いました

議長交際費をお知らせします

（平成25年3月5日～6月11日までの内訳）

お祝い	4件	1万6千円
会費	14件	6万1千円
お悔み（花輪なども含みます）	なし	0円

県南地区町議会議長会

6次産業の理解深める

4町議会から約60人が参加し、6次産業に対する理解を深めました。

7月2日沢内バーデンで県南地区町議会議長会による第1回議員研修会が行われました。

県南地区町議会議長会は、西和賀町、平泉町、住田町、金ケ崎町の4町議会で組織し、情報交換を密にし議会運営を円滑に行う事を目的に組織しています。

研修内容は、商品企画や立案、販売あっせんを行う岩手志援㈱の鈴木勝美代表から『6次産業は足元から』と題した講演でした。鈴木代表は「6次産業は人が要。物や建物ではない」と話し、議員らもうなづきながら聴講していました。

県監査委員協議会

米澤代表監査委員が副会長に

臨時総会で新しい副会長として紹介される米澤代表監査委員（右から2番目）

5月24日盛岡市の自治会館で行われた岩手県監査委員協議会臨時総会にて、米澤卓生西和賀町代表監査委員（太田）が県協議会の副会長に就任しました。任期は2年間です。

県内に4つある地区ブロックから推薦された8人の委員による互選の結果選出されたものです。

監査委員は、行政が最小限の費用で最大の効果をあげているか、事業の妥当性や能率性を監査しています。

米澤さんは、西和賀町の監査委員に就任し2期目6年目で、県内でもベテランの域に達しています。

全国町村議会議長・副議長研修会

佐々木議長が取り組みを報告

当日は全国から約1400人が参加しました。議会活動のほか、西わらびなど特産品も宣伝しました。

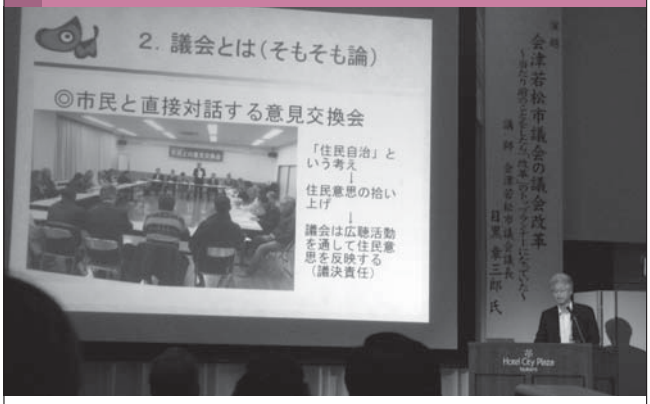
5月28日～29日にかけメルパルクホール（東京都）で行われた、第38回町村議会議長・副議長研修会の『これからの町村議会のあり方』と題したシンポジウムにて、佐々木議長がパネリストとして参加しました。

西和賀町議会は、昨年度全国町村議会議長会の特別表彰を受賞したことから、その取り組みを全国に発信してほしいとパネリストに選ばれました。

佐々木議長は、全国の町村議長らに向け「政策提言を行うレベルの高い議会活動を目標に掲げて取り組んでいる」と報告しました。

北上市議との両議員研修会

議会改革トップランナーに学ぶ



両議員研修会は、北上地方の問題共有を行うため毎年1回行っています。

7月3日ホテルシティープラザ北上で本町議会議員と北上市議会議員との両議員研修会を行い、両議会から約40人が参加しました。

研修内容は、全国の議会改革の旗手の立場にある会津若松市議会の目黒章三郎議長から『当たり前のことをしたら「改革」のトップランナーになっていた』と題した講演でした。

目黒議長は「なぜ議会改革が必要か。それは議会の価値を高め、多様な市民意見を背景に政策提言していくため。また、地域のことは地域で決める自立と自律意識が求められている」と力説していました。

知ってるようで知らない 議会deお勉強!?⑬

今回は

広報編集常任委員会（関連12－13P）

に関してじゃ

●議会の仕組みや難しい用語をできるだけやさしく説明していきます。

5月15日の臨時会で、「広報編集常任委員会」が新しく設置されたけど、それまでの「議会だより編集委員会」とどう違うの？

ふ～ん。そうなんだ。それで違いは？

法的？自主的？性格が異なる？

まずじゃな、委員会とは何かを理解してほしい。委員会制度は、審議を分野別に分担しあい、より専門的に取り扱うことでより審議が尽くされるようにした制度じゃ。そして、委員会には、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会があるんじゃ。

まあまあ、急ぐでない。この委員会は、地方自治法により各議会で任意に設置できると定められている。なくてもいいし、あってもいい。その判断は各議会に任せられている、ということじゃ。委員会は、法的な組織だから、委員会としての権限が増すんじゃよ。例えば、ある事柄を調査したり審査したり、議案の提出ができる権限じゃ。そして、法的な組織だから、活動も法的となる。議会が自主的に組織した組織、例えば町政調査会とは性格が異なるんじゃよ。

法的な委員会では責任も当然重くなる。議会広報は、議会と町民を結ぶパイプじゃ。だから、今までの自主的な議会だより編集委員会を、広報編集常任委員会としたのは、より議員が積極的に編集に携わる環境が作れるため、今まで以上に責任のある編集を行うという気持ちの表れなんじゃよ。

このコーナーでは、議員が一般質問などを通して町に問いただしたことが、その後にどうなったかをお知らせします

あの課題はどうなった？

若畑公民館新築。地区民の念願かなう

経緯

現在の若畑公民館は、湯田ダム管理事務所を、昭和40年に住民総出で解体・移築し現在にいたります。移築から40数年が経過しており、消防屯所も同様に老朽化しています。

そのため、地区では、再三にわたり早期に新築してほしいと町に要望してきました。

現在の公民館の様子。隣接された高齢者創作館はそのまま残します。

議会では

昨年6月24日の若畑公民館での住民の声を聴く会の様子

町政調査会（髙橋雅一会長）では各地区や各種団体から意見や要望などを聞く、住民の声を聴く会を若畑地区で行いました。その際にも、『公民館と消防屯所が古く、公民館と消防屯所を合築してほしい』などの要望が出されていました。

これを受け、町政調査会でも町長に、その旨を伝えてきました。

結果

地区の念願がかない、昨年度に基本設計を行い、本年度新築されることとなりました。

工事費は、土地造成、建築工事、既存建物の解体も含めて4454万円です。このほか、設計費と備品などで約950万円です。

なお、地元負担金は834万4千円です。公民館用地の491㎡分に、県道改良工事の際の宅地の買収単価を参考に、1㎡1700円として計算しています。

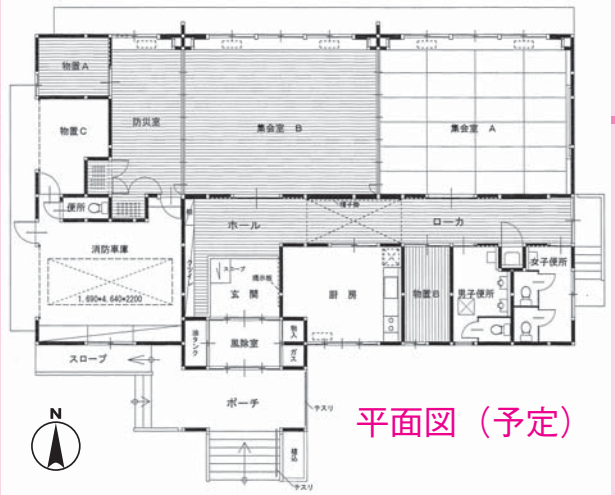
○新若畑公民の概要（予定）

敷地面積：公民館491㎡、消防屯所189㎡。

建物面積：公民館169㎡、消防屯所62㎡。

構造：木造平屋建て。消防屯所には防災室（休憩室）と物置、トイレを設置するほか、公民館と連絡できるようにする予定です。

位置：建設位置は、現在の屯所の後ろ側です。屯所前に車両を停めるスペースを確保するため、県道から12・5m離して建設します。



平面図（予定）

みなさんと議会を結ぶ
西和賀町 議会だより
No.31

夢をつかめ!! にしわがっ児 Vol.17
湯田中バレーボール部

本コーナーは小中高生のクラブ活動などを紹介していきます

生徒数の減少で、平成18年に男子バレー部が廃部され、以来、女子のみとなった湯田中バレーボール部。部員は、１年生２人、２年生５人で、心をひとつにボールをつなぎます。

スクールバスなどの関係から、クラブ活動だけでは十分な練習時間を確保できないため、このほか火・木はスポ少で練習しています。

部長
高橋美紗さん
（２年・湯田）

中総体で３年生が引退し、新しいチームとして始まったばかりです。バレーボールのおもしろさは、みんなで力を合わせるチームプレーが重要なことです。試合では、とにかくボールをつなぎ「全力バレー、最後まで追いかけよう」を合い言葉に、中総体新人戦では県大会上位を目指します。

キャプテン
髙橋紗也佳さん
（２年・湯川）

人数も少なく、大変ですがもっと強くなりたいです。勝つためには、サーブで相手をくずし、確実なレシーブでつないでいく、この辺にもっと力を入れて練習する必要があります。楽しいだけじゃなくて、やる以上は結果を残せるチームを目指したいです。

おなが～く「生涯現役」です (16)

本コーナーは老人クラブの活動などを紹介していきます

川尻二区憩会　会長
髙橋重一（じゅういち）さん
（81歳・川尻）

昨年、会長に就任しました。まず私が取り組んだことは会員を増やすことです。後継者育成のためにも若い人に加入してもらう必要があります。『俺どこへでけろ』という人はいないので、まずは地区の要職である区長や民生委員、役場ＯＢに加入を頼みに回りました。お陰様で、今年は12～13人に入ってもらいました。

会長として、何もできませんが、一人でも多く加入してもらい、ほかから見られても恥ずかしくない会でありたいし、会員の協力もあるので心強いです。来年は、10人の新規加入を目指しています。

会では、春の花見、秋の紅葉のいもこ会などで交流を深めますが、『もっとやってけろ』と言われます。喜ばれることを活力に、やれるうちは頑張ります。

二区と大沓地区が加入対象ですが、現会員は44人と少なめです。会員を増やすことが至上命題です。

暫時休憩

今年の冬は、積雪深２・７㍍と記録的な大雪となりました。ようやくこの雪がとけ、ブナは芽吹き、山々の峰を走り、自然のエネルギーが爆発しました。そして今、花々が大地を彩り、競い合う新緑の季節を迎えたわが西和賀町です。

さて、今回の議会だよりから新たな体制で委員会を進めていきます。

委員一同、「読みやすい議会だより」、「わかりやすい議会だより」づくりを目指して頑張ります。

これまで同様よろしくお願いします。

広報編集常任委員会
委員長　中村キミイ

【議会だよりは広報編集常任委員会で編集しています】

委員長　中村キミイ
副委員長　淀川　豊
委員　佐々木正裕
〃　髙橋昭貴
〃　刈田　敏

発行日／平成25年7月12日・年4回発行
編集／岩手県・西和賀町議会広報編集常任委員会
印刷／鶴田印刷株式会社・横手市

発行人／岩手県・西和賀町議会広報編集常任委員会　委員長　中村キミイ
〒029-4602　岩手県和賀郡西和賀町沢内字太田2地割81番地1
西和賀町（沢内庁舎）TEL0197(85)3416　FAX0197(81)2008

議会だよりは、過去に発行した分も含めて西和賀町のホームページでご覧いただけます　http://www.town.nishiwaga.lg.jp/

VEGETABLE OIL INK